



## 令和6年度 履修証明プログラム募集要項

<p>プログラム 名称</p>	<p style="text-align: center;"><b>Family Reconstruction Support Program</b> (家族再構成支援プログラム)</p>
<p>実施体制</p>	<p>プログラム責任者:保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース 准教授 大下 由美</p> <p>このプログラムは、課題を抱えた家族が、問題解決システムとして機能するように支援していくための理論と技術について、実践的に学ぶプログラムで、「家族支援の実践実技講座(公開講座)」、「家族の問題の評定と介入に関する知識と技術(講義編)」と「実践事例に基づく演習(スーパービジョンを含む)(演習編)」の3つの小プログラムから構成される。</p> <p>3つの小プログラムの内、「家族支援の実践実技講座」と「事例に基づく演習(スーパービジョン)」は、プログラム責任者が単独で実施する。講義編は、学部授業の短縮版であり、内容の一部は、申請者を中心として、大学院博士後期課程の学生(社会人)と協働して展開する場合がある。なお院生が関わる場合も、プログラム申請者が事前に許可した内容であり、申請者同席の元、実施される。</p> <p>証明書交付に必要な体制として、1年間を通して、3つの小プログラムそれぞれにおける出欠管理、およびレポート提出(演習では逐語記録の提示)内容により評価を行う。なお講義編で外部講師を含んだ場合は、講師陣を含めて総合的に評価する。</p>
<p>講座の目的</p>	<p>子どもと家族への福祉の増進(家族の再構成支援)に関与している、地域で核となる専門職の人の知識とスキルの向上を図る。</p>
<p>受講期間</p>	<p>令和6年7月6日(土)~令和7年6月8日(日)【全15回・総時間数 75 時間】</p>
<p>対象者・ 受講資格</p>	<p>以下の①及び②の条件を満たす者</p> <p>① 高等学校を卒業した者、またはこれと同等以上の学力を有する者</p> <p>② 児童福祉にかかわる公的機関、福祉施設および事業所等(児童養護施設、子ども家庭センター、市役所等の子ども家庭課、地域の子育て支援・相談センター等の職員)で、家族再統合支援(親子間のコミュニケーションの改善の支援)に従事している、あるいは関心を持っている実践家</p>
<p>募集人数</p>	<p>5名(申込多数の場合は抽選)</p>
<p>会場</p>	<p>県立広島大学</p> <p>三原キャンパス:三原市学園町1番1号</p> <p>広島キャンパス:広島市南区宇品東一丁目1番71号</p>

修了要件	令和6年7月～令和7年6月までの間で、「家族支援の実践実技講座(公開講座)」、「家族の問題の評定と介入に関する知識と技術(講義編)」、「事例に基づく演習(演習編)」の3つの小プログラム全てにおいて8割以上出席し、60 時間以上の履修をしていること。かつ、レポート及び受講者自身の事例でのスーパービジョンを受けていること。
受講料	27,600 円(税込) (1 日単位の受講はできません。納入後の受講料は、いかなる理由においても返還しません。)
申込方法	<p>(1)下記申込フォームからお申し込みください。  <a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=886">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=886</a></p>  <p>(2)申込フォームからの申し込みが完了されましたら、以下①～③の3点を、書類郵送先へお送りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①【本学様式】履修証明プログラム履修許可願</li> <li>②【本学様式】履歴書</li> <li>③ 最終卒業学校の卒業(卒業見込)証明書</li> </ul> <p>※①②の様式ダウンロードは下記ホームページからも可能です。  <a href="https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/rishu-shoumei/2024m-shoumei02.html">https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/rishu-shoumei/2024m-shoumei02.html</a></p>  <p><u>必要書類の本学への到着をもって受講申し込みを受理します。</u>  申し込み後、メールで受講案内をお送りします。パソコンからのメール(@pu-hiroshima.ac.jp)が受け取れるよう設定しておいてください。</p>
申込締切	令和6年6月5日(水) ※書類の郵送は6月6日(木)必着
個人情報の取扱い	申込および受講にあたりご提供いただいた個人情報は、本プログラムの運営及び三原地域連携センターの事業に関する事以外目的には使用しません。
問い合わせ 書類郵送先	県立広島大学 三原地域連携センター 履修証明プログラム係 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電話 0848-60-1120 (平日 9:00～17:00) FAX 0848-60-1134 メール <a href="mailto:mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp">mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp</a>

【プログラム】

回	日程(予定)	テーマ・内容詳細
第1回	令和6年7月6日(土) 10:00~16:00 会場:三原キャンパス 4502-4507, 4601	家族支援の実践実技講座1 『家族支援のための基礎理論』
		家族を一つのシステムとして捉え、システムの変化に関する基礎的な考え方を学びます。さまざまな社会生活上の問題は、家族システムという視点から捉えなおすと、構成員間のコミュニケーション過程で問題が構成されると捉えられます。この視点から、児童虐待の問題等、家族間で生じている日常のコミュニケーション過程の変容からもたらす支援論を学修します。
第2回	令和6年7月13日(土) 10:00~16:00 会場:三原キャンパス 4502-4507, 4601	家族支援の実践実技講座2 『家族支援のための変容技法論』
		1回目の基礎理論の復習を行います。その上で、具体的な家族の事例を取り上げ、問題の評定方法と変容計画について、単純な問題生成パターンを仮説立て、その変容を体験的に学びます。支援過程で用いる循環的質問法の使用についても、従来の技法との使用法の違いについても、受講者によるロールプレイを通して、理解を深めます。
第3回	令和6年7月20日(土) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族支援の実践実技講座3 『家族支援の実際(事例検討)』
		対人関係をシステムで捉える視点の復習に加え、システム内で生じている悪循環過程を変容する実際を学びます。参加者からの事例提供を含め、困難事例を取り上げ、単純な問題の評定フレーム、それに基づく介入計画、そして変化を生成する介入過程での技法使用の実際について学習します。
第4回	令和6年7月27日(土) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族支援の実践実技講座4 『家族支援の実際(ロールプレイ)』
		1回目~3回目までの内容の総復習を行います。特に質問法の使用の実際について、体験的学習を中心に行います。受講者の方の実践事例、または仮想事例を用いて、受講者の方に変容計画の立案、そしてその計画に基づく循環的質問法を用いた面接のロールプレイを通して、理論と実践の統合的理解を深めます。
第5回	令和6年8月18日(日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 1
		家族の問題を、家族システムの特徴として評定する方法を学びます。「家族支援の実践実技講座」で学んだ、関係性の視点を復習し、理解を深めます。
第6回	令和6年9月8日(日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 2
		家族構成員間の問題生成過程を、意味の重層構造論を用いて評定する方法とそれに基づく介入計画を学びます。

第7回	令和6年10月20日 (日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 3
		家族の問題場面の変化の地平を開く、2者間のやり取りをトラッキングする技法について学びます。
第8回	令和6年11月17日 (日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 4
		家族システムの変化まで拡大していくための課題設定と循環的質問法の使用法を学びます。
第9回	令和6年12月15日 (日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 5
		問題場面のトラッキングデータとその介入結果に基づく、効果の測定法について学びます。
第10回	令和7年1月26日(日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	事例に基づく演習1
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(評定のための質問技術を実践事例の逐語で練習)を行います。
第11回	令和7年2月16日(日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413,2414,2451	事例に基づく演習 2
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(問題場面のトラッキング技術を実践事例の逐語で練習)を行います。
第12回	令和7年3月16日(日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413,2414,2451	事例に基づく演習 3
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(解決方法を浮上させるための差異化の技法1:実践事例の逐語で練習)を行います。
第13回	令和7年4月20日(日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	事例に基づく演習 4
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(解決方法を浮上させるための差異化の技法2:実践事例の逐語で練習)を行います。
第14回	令和7年5月18日(日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	事例に基づく演習 5
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(課題設定とリフレクションのための技法:実践事例の逐語で練習)を行います。
第15回	令和7年6月8日(日) 10:00~16:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	事例に基づく演習 6
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(課題実践の記述と効果測定のための技法:実践事例の逐語で練習)を行います。

※休憩時間を含みます。